

校長室より

第144号

「天空高き」



令和3年4月7日

入学おめでどう一何を学び、どのように学び何を身に付けるのかー

春爛漫の季節を迎えましたが、新入生の皆さん、入学おめでどうございます。

高水学園の生徒、全教職員は、皆さん一人ひとりを新しい仲間として、心から歓迎します。

さて、今日から6年間あるいは3年間、皆さんはこの高水学園で学校生活を送ります。現在の皆さんは、過去の自分がつくってきたものです。未来の皆さんは、今から自分でつくるものです。



皆さん、これからの激動の社会を生き抜いていくために求められている力、人間力とは何でしょうか。

私は、自分の頭で考え、自分の言葉で、「こう思う」と自分の意見をはっきり表現でき、行動できる力だと思います。なぜ自分の頭で考える力が必要なのかといえば、社会や技術の進歩のスピードが速くなり、将来、何が起こるか誰にもわからないからです。

一昨年の12月に発生した新型コロナウイルスは世界中に拡散し、今もその勢いは止まりません。コロナを予言した人が一人もいなかったように、これからは何が起こるか誰にもわかりません。これから世の中がどう変化するか誰にもわからないときに、一番大事なのは、自分の頭で考え、行動する力です。

科学や技術が進歩、発達して、いろいろなことができるようになって、「なにをすれば人のために役立てられるのか」、「今何を学び、どのような力を身に付ければよいのか」と、自分の頭で考え、その「問いかけを作る」ことが一番求められています。「問いかけを作る」ことは、AIにはできない、人間にしかできないことだからです。

社会の変化に対応し、予測できない時代に生きていくためには、他人の意見に左右されず、自分の頭で、自分の言葉で、科学的に考える力を身に付けることです。

自分の頭で考える力を育てるためには、過去、歴史に学び、今日本で、世界で何が起きているか、正確な情報を集める必要があります。そして、その場所が学校です。

一所懸命にやらなかったことを失敗という 高田 明

皆さんが自分の頭で考える力を身に付け、社会に出る前の最後の場所が、高校です。

皆さん、普段の当たり前のごことに感謝し、当たり前続けることを大切にしてください。毎日の授業を、ホームルーム活動を、学校行事、部活動を、ポジティブに、一所懸命に取り組みましょう。スマホを何時間いじっていても、皆さんの成長にはなりません。

皆さんが、高水学園で今日から、過去に捉われず、未来を恐れず、今を前向きに全力でチャレンジし続け、6年後あるいは3年後には、自律した人間として本校を巣立っていくことを期待します。

開校記念日

高水学園は明治31年4月10日、熊本郡高水村（現周南市高水）の地に、高水村塾として創立されました。

昭和29年に、ここ南岩国に転出し、今日まで123年間、「師弟親愛」「堅実明朗」「勤労実践」を校訓とし、「徳性の陶冶」一教育による人格の錬成一を建学の精神、指導の根幹として、日々の教育に取り組んで参りました。その結果、卒業生は優に3万1千人を超え、国内外を問わず、社会のあらゆる分野に、多くの人材を輩出している、歴史と伝統に支えられた学園です。

右記「楽学の碑」は、大正11年（1922）3月高水中学校長伊東法住先生の親筆により前庭（高水村亀山）に建立されました。これは村民の教育熱を象徴する記念のもので、高水村塾高水中学校卒業生はもちろん、この由来を知る地元村民は、教育熱心であった先達をしのび、この碑を誇りとしています。（本校にある「楽学の碑」は、岩国転出を記念してこの碑を3分の2に縮小して昭和36年に建立されました）

現在コロナ禍のため、毎年恒例の開校記念講演会が2年連続で中止になりました。講師は各界で活躍されている卒業生に依頼しています。来年は是非開催し、皆さんが勇気づけられ、記憶に残る講演会にしたいと思います。

リスペクト —Respect—

今年度のチャレンジ目標は、「リスペクトする」です。直訳すれば、「尊敬する」、「敬う」という、意味になります。

しかし、リスペクトには、さらに、次の2つの意味があります。

1つは、誰か（何か）を「賞賛する、高く評価する」という、意味があります。

もう一つは、誰か（何か）そのものを価値のあ



楽学の碑（周南市指定文化財）



るものだと認めて大切に。「尊重（する）、敬意（を払う）、大切に」の意味です。

私たちは、顔や性格、1人として同じではありません。また、人それぞれの価値観、発想や考えなども違います。「自分と違って当然。それはそれで大切なものとして認められるべき」という見方や考え方がグローバル社会では特に大事です。そして、文化や習慣が違ったり、人と違うところがあったとしても、それだけの理由でないがしろにされたり、認められなかったりされるべきではありません。

私たちはすべての生き物や物に対してリスペクトする。また人どうしもお互いにリスペクトする心が根底にあれば、学校や地域社会だけでなく、世界が変わります。

皆さんは未来からの留学生です。リスペクトすることで自分を、学校を、社会を、世界を変えましょう。

4月の月間目標

リスペクトする

令和3年度
チャレンジ目標

- 1 明るい挨拶
- 2 5分前行動
- 3 交通ルールを守る
- 4 1%を誰かのために

今年度のチャレンジ目標は、「リスペクトする」です。

そして、4つの目標を掲げています。

まず、お互いに明るい挨拶を交わしましょう。家庭で、地域社会で、学校で。コミュニケーションのはじまりは、元気な挨拶からです。

次に、5分前行動です。時間は有限です。授業、学級活動、学校行事、部活動、すべて時間は限られています。限られた時間を有効に活用するためには、次を意識して早目に行動することです。

3番目は、交通のルールを守ることです。昨年度登下校時での自転車事故が12件ありました。ルールを守ることは他人を守り、自分の命を守ることにあります。

最後に、1%を誰かのためにです。皆さんの若い力を必要としている方が大勢おられます。積極的に、ボランティア活動に参加してください。

東日本大震災から10年

この震災は、地震、津波と原発事故が重なった、過去に経験したことのない複合災害でした。

10年前の大震災の経験や教訓が、時間の経過とともに次の世代に伝わっているでしょうか。

大震災以降の近年の自然災害が毎年のように日本各地で多発しています。現在のコロナ禍で自然災害が発生すると、その複合災害に対して、私たちは家庭、地域、学校でしっかり対応できるのでしょうか。



だいすきとうほく
3.11から10年
そしてこれから。

私たちの一番の課題は、災害に対していかに他人事ではなく、自分事として捉えられるか、そして防災訓練を当たり前のように日常化していくことではないでしょうか。

災害がいつ、どこで、誰に起こるか予測できない以上、私たちは防災に学び、常に備える準備をすることが大切です。

微笑みの効用一心を明るくする一

ある雑誌に右のような「微笑みの効用」がありました。

「笑いは百薬の長」という言葉があります。「笑う」ということは、どんな薬よりも体にいいですよ、ということわざです。

辛いことがあっても、それにもかかわらず微笑む。むしろつらい時だからこそ微笑む。花を見て微笑む。花がなければ、空を見て微笑む。風を感じて微笑む。息を吸って微笑む。

微笑みは心を明るくし、世の中も明るくします。お互いに努めて微笑むようにしましょう。

「微笑みは第一に心が明るくなる、
食事が美味しくなる、
イライラがなくなる、
姿勢が美しくなる、顔が美しくなる、
どんな逆境にも
不退転の勇気を与えてくれる、
微笑みは磨くほど効果が大きい、
気持ち落ち込んだとき微笑んでご覧下さい、
きっと心が明るくなりますよ」

二十四節気

清明（せいめい）4月4日

清明は清浄明潔（じょうじょうめいけつ）の略語で気候が温暖となり、青空が広がり、草木は芽吹き、清々しいと呼ぶのにふさわしい頃を言います。

中国では古くから先祖の霊を供養する重要な祝日とされ、本州では例年桜が満開を迎える所も多く、草花が勢いを増し、高気圧に覆われる日は晴れて暖かく、湿度も低く、清明を実感できる時季です。

穀雨（こくう）4月20日

穀雨は春雨が降って百穀を潤す頃という意味があります。

穀雨の頃には南から水蒸気を多く含んだ空気が流れ込むようになり、低気圧が通過するときにはまとまった雨が降るため、田畑を潤して農作物の新芽を盛んに成長させます。穀雨の次は暦の上で夏が始まる立夏ですが、この時季を過ぎると次第に天候は安定し、日差しも強くなって初夏を迎えるようになり、植物や農作物はいっそう成長していきます。

お天気.com